

『中心市街地の改善提案』

～天神の空を歩行者に～

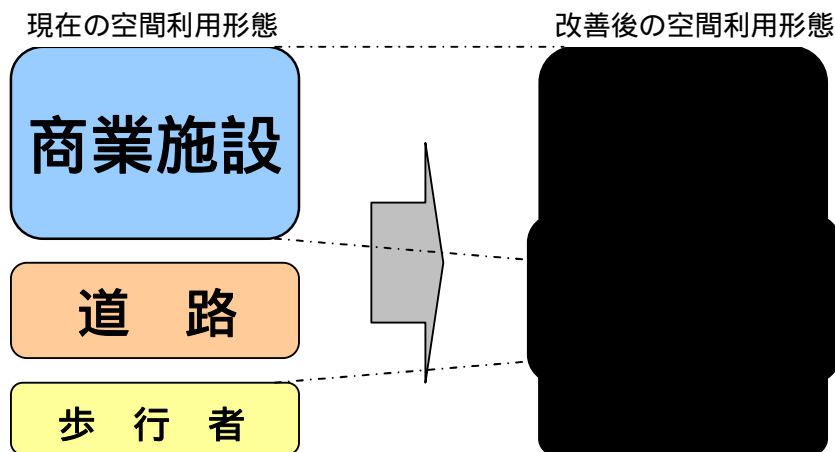
○目的

福岡天神を初めとする中心市街地は、幹線道路を軸に計画されており、**貴重な空間の多くが道路空間として利用さ**

れている。これらの道路は、利用者のアクセスとしての機能を果たす一方、地域を分断し歩行者の移動を阻害する一因にもなっている。本案では、道路によるアクセス機能はそのままに、**道路空間を歩行者に開放することで、地域分断を解消する**ことを目的とした、**中心市街地をさらに活性化するための『改善』案**である。

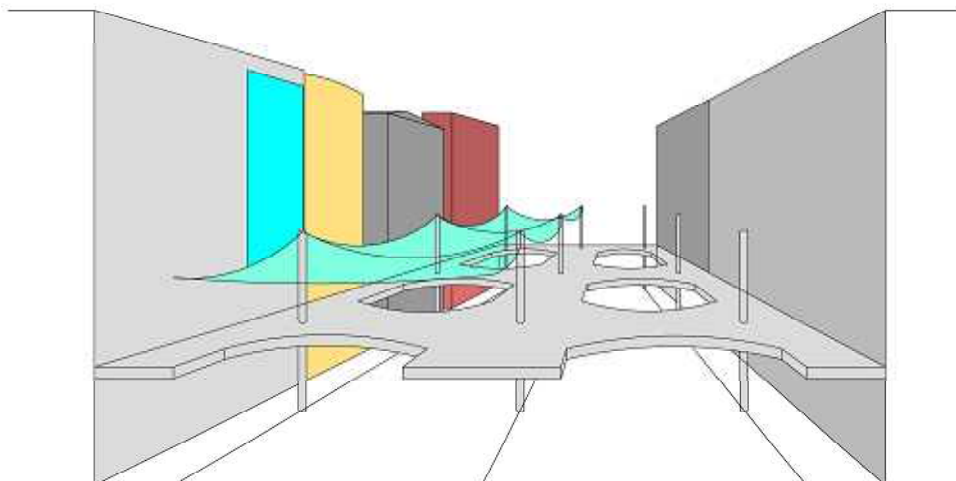


混雑する歩行者空間



○具体案

1. 『渡辺通り』上に歩行者空間『廻り廊下』を設ける。
2. 『廻り廊下』は『歩道』・『公園』・『商業施設』の3つの機能を有し、それぞれの境界を曖昧にすることで、全体の一体化を図る。
3. 隣接する商業施設から『廻り廊下』へは、面的にアクセスできる構造とし、既存の施設を生かす一方、屋台形式の店舗の出店を許可することで、活力ある空間を目指す。



『廻り廊下』イメージ